

技術・知識だけではなく、社会に貢献できる 人材育成にも注力しています。

企業における成長力の源泉は、人材育成です。大成ロテックでは、単に事業活動に必要な技術・知識の習得だけではなく、ヒューマンスキルを向上させる独自の教育プログラムを用意。新入社員から幹部まで、そのスキルや職責に応じた多彩な研修を実施することで、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。

テクノフォーラム

大成ロテックは、建設生産活動・技術活動の成果を発表や討議を通じて、技術系社員のプレゼンテーション能力の向上と、技術レベルの水平展開を図ることを目的として、平成4年より、技術研究所においてテクノフォーラムを開催しています。

今年度は2年ぶり8回目のフォーラムが開催され、

小林社長をはじめとする役職員出席のもと2日間にわたり全19件の技術論文の発表が行われ、優秀発表には表彰状と賞金が授与されました。

なお、今回のテクノフォーラム2010はCPDS対象の技術研修会として、(財)全国土木施工技士連合会に申請し、認定を受けています。



コンプライアンス研修

大成ロテックは、平成10年に「大成ロテック企業行動規範」を制定。「法令等(法律、条例、慣習等の社会的ルール、社内ルール)の遵守と社会的良識をもって行動する」をスローガンに、継続的な組織・体制の整備を実施しています。

また、役職員一人ひとりに対してコンプライアンスの精神を徹底させるために、全社規模でコンプライアンス教

育を計画。今年度は、本社担当者による研修会を全国で32回、支社担当者による勉強会を2回実施しました。

ここでの内容は、大成ロテック企業行動規範並びに諸規定の解説だけではなく、独占禁止法、建設業法、入札・談合から、セクハラやパワハラなどの人権問題にいたるまで、具体的な問題を取り上げ、全社的なコンプライアンスの強化に努めています。



国際研修

グローバルな事業を展開する大成ロテックでは、海外工事において勤務する社員のレベルアップを目的として、毎年国際研修を実施。語学力はもちろん、赴任先における政治・経済や社会情勢に関する動向などを知ることにより、現地の人たちとの良好な関係の構築に努めています。



人権研修

大成ロテックでは、役員、支社長、本社幹部社員を対象として人権研修を毎年開催。研修を通じて人権・人格の尊重という大命題を系統的に学ぶことにより、差別の無い社会の実現と、社内においてはパワハラ・セクハラ

などの無い良好な職場環境づくりを目指しています。具体的な研修内容は、受講者により全国で開催される人権研修において再教育が行われ、全社員に浸透するような教育プログラムが組まれています。



人事部研修

企業の社会的責任を果たしていくためには、技術の向上と人づくりが不可欠の要素であると考える当社では、上記の各研修に加え、以下のように社員の各階層のニーズに即した多様な研修を実施しています。

- 営業所長研修
- 専任職研修
- 管理担当者研修
- 上級マネジメント研修
- 販売担当者研修
- 新入社員教育
- 工事担当者(上級)研修
- 合材工場品質管理担当者研修
- マネジメントシステム教育
- 一級土木・一級舗装研修
- 合材工場機械担当者研修(設備)
- 統括安全責任者研修
- 工事担当者(初級)研修
- 工場マネジメント研修
- 新任係長格研修
- 工事担当者(中級)研修
- 営業担当者研修
- 新任課長格研修